

三鷹市と連携した 森林整備事業

【佐々木委員】令和8年度までをめどに連携協定を締結しているが、9年度以降の事業継続の見通しはあるのか。

【林政課長】今後も継続していただければありがたいが、三鷹市の考えによるところであるため、こちらとしてはお願いをしていく立場であると考えている。

杉の苗木生産補助

【佐々木委員】杉の苗木生産に対する補助金、支出が無かった理由と、その後の状況はどうなっているのか。

【林政課長】苗木の生産が順調に進まず、出荷が無かったため補助を行わなかった。令和7年度はある程度出荷が見込めるので、支援をすることになると考えている。



花粉の少ない杉の苗木

新規就農支援と広報

【横山委員】新規就農者育成支援事業補助金の成果と広報方法は。

【農政課長】令和4年度からの家賃補助として1件を支援している。新規就農者の傾向として令和元年度からの6年間で4人の方が新たに就農している。

広報に関しては、各種方法で行っているが、現状として認知度が低い。宣伝効果の高い広報媒体など検討したい。

機構集積協力金 交付事業

【金田委員】農地中間管理機構を通じた集積協力者への給付金交付事業であるが、担い手への農地集積が伸び悩んだため、大幅に減額となったのか。

【農政課長】一般地域の区分の見直し、中山間地域の区分の廃止など

事業の見直しが行われ、事業の活用が進まなかったため減額となった。

【金田委員】農業委員会及び地域計画との連携をどう図っていくのか。

【農政課長】地域計画の目標地図作成は、農業委員会が中心的な役割を担っており、引き続き、J・A・土地改良区などの関係機関と町が連携し、取り組んでいく。



若い力でがんばります

商工費

国際交流事業

【横山委員】国際交流事業の実績と今後の展開は。

【商工観光課長】中国の成都市、西安市の野球

スポーツ少年団を招き、鮎貝小学校の児童との交流、本町のスポーツ少年団との合同練習など行った。

【町長】相互に往来させたい気持ちもある。国やJICA（国際協力機構）の枠組みではなく、町として交流しながら将来に向けて考えたい。

創業への支援事業

【佐々木委員】支援を活用し、町内で新たに起業する方が増えているようだが、今後も事業継続の考えはあるか。

【商工観光課長】特に若い方の創業にも期待している。また、地元に戻って起業するというのも一つの選択肢となり、移住の後押しになるのではないかと考えている。今後も継続していきたい。

土木費

除雪車運転の担い 手育成補助金

【佐々木委員】除雪車の運転手が高齢化などで年々不足している。これまでの免許取得の実績は。また今後も事業を継続する考えはあるか。

【建設課長】これまで複数の会社から6人が免許を取得している。令和7年度もすでに3人への交付を決定しており、効果が出ていると認識している。

商工会とも意見交換しながら、今後の事業のあり方を検討していきたい。



スポーツで国際交流